

## 2023(令和5)年度第3回伊賀市地域公共交通活性化再生協議会 議事録

■開催日時 2024(令和6)年2月9日(金)  
午後1時30分～午後2時45分

■開催場所 伊賀市役所 4階 庁議室

■出席者 (敬称略)

### 【委員】

辻本 勝久(和歌山大学)、宮崎 寿(伊賀市副市長)、  
兒嶋 一裕(西日本旅客鉄道株)、山本 恒平(近畿日本鉄道株)、  
増田 政俊(伊賀鉄道株)、  
平岡 祐一(三重交通株 代理 田中 真一)、  
前田 敦志(三重県タクシー協会)、尾上 義文(三重交通労働組合)、  
鈴木 博行(中部運輸局三重運輸支局 代理 杉原 慎也)、  
藤田 雄一(三重県地域連携・交通部交通政策課 代理 山本 聖)、  
浅田 昌博(三重県伊賀建設事務所)、木宮 康介(市民公募)  
福本 紀昭(障害者福祉連盟 代理 吉輪 康一)、  
風隼 徳彰(伊賀市企画振興部長)

### 【オブザーバー】

二輪 昭宏 (中部運輸局鉄道部計画課)

### 【事務局】

企画振興部 佃次長  
交通政策課 井上課長、坂森主幹、服部主幹、中川

■傍聴人：1人

### ■会議概要

#### 1. 開会

交通政策課 井上課長

#### 会長あいさつ

みなさんこんにちは、会長の辻本でございます。年度末のお忙しいところお集まりいただき有難うございます。さて、伊賀鉄道の各駅では、ICカード用の改札口の準備が進んでおり、茅町駅では、サイクルポートの工事も進

行中ということでございます。本当に、地域公共交通計画に基づいて、色々取り組みをしていただき、その成果が目に見えて現れてきており、本当にみなさん有難うございます。

本日は、協議事項といたしまして、4件用意しております。伊賀市地域公共交通計画の改訂について他3件でございます。それから、報告事項といたしまして2件用意しております。

みなさん活発なご参加よろしくお願ひいたします。

## 2. 協議事項

### (1) 伊賀市地域公共交通計画の改訂について

事務局から資料1に基づき説明。

#### 【質疑応答】

委員（中部運輸局三重運輸支局）	当局の担当者から、計画の改訂について、事前に中身を確認している。この内容で、特段問題ないと聞いている。 この後、計画の変更という事で申請をいただくことになる。内容を精査させていただき、気になる点等があれば改めて連絡させていただく。
-----------------	--

#### 【承認】

### (2) 伊賀鉄道に係る生活交通改善事業計画（案）について

事務局から資料2に基づき説明。

【質疑応答】なし

#### 【承認】

### (3) 伊賀鉄道に係る地域公共交通再構築調査事業（案）について

事務局から資料3に基づき説明。

#### 【質疑応答】

オブザーバー（中部運輸局鉄道部計画課）	事務局の方から再構築調査事業の説明をいただいた。この調査事業は、国から2分の1の補助をしており、次年度から始まる。そのため、できるだけ早く始めたほうが、それだけ長い期間で内容的に充実した調査が出来る。十分な期間が取れるよう、しっかりと調整をしていただきたい。 なお、昨年、地域交通法が改正され、新しい再構築事業が
---------------------	---

	<p>始まった。先ほどの議題2で、現在も有利な補助金を差し上げているが、さらに有利な国からの補助金が受けられるという支援制度を活用できるということもあり、現在、他の地方鉄道などが活用を模索している。この支援制度は、今までも再構築事業を実施いただいているが、これからも最低10年の計画を立て、10年間地域で支えていくという事が前提になる。国の方も、「必ずしも鉄道で残せ」と言う考えは持っていないので、しっかりとしたデータに基づき、残すか、残さないかという事を考えていただく必要がある。そのためにも、この調査事業を活用し、しっかりとしたデータを集めていただき十分な検討をいただくという事になる。</p> <p>また、新しい再構築事業の趣旨として、一つ大きなことに利便性の増進というのがある。ただ鉄道を残すのではなく、使い易い鉄道にして使っていただく事によって、地域の交通の柱にしていきたい。そのためには、バスの結節やタクシーなども考え、更に一步踏み込み、公共施設、病院、福祉施設、商業施設などを含めた地域の絵姿をしっかりと描いたうえで、計画を立てていただく必要がある。何れにしても、皆さん地元の方々が考えて絵姿を描いていただく格好になると思うため、この調査事業を活用し、しっかりと皆さんで検討していただきたい。</p>
事務局	<p>先程説明させていただいたとおり、これまでの実績などを整理しまして、一旦、市民の方々に、これまでの状況とこれからの部分を理解していただいたうえで、次の再構築計画の策定に向けた基礎調査を実施したいと思っています。有利な支援制度の活用も当然の事ですが、それ以上に市民全体で応援していただく鉄道であるという事が大前提です。その説明が出来る様な調査を進めて行きたいと思っています。</p>
委員	<p>この様な分析調査は、かなり詳細にわたってしなければならないと思う。専門的な業者に、調査や分析を依頼するのか。あるいは、市単体か。</p>
事務局	<p>鉄道事業や交通計画に携わっていただいた実績のあるコンサルタントに依頼させていただく予定です。基礎となる数字というのは、その様な方でないと難しいところもありますので、そこから他の地域鉄道の例を習った上で調査を進めて行く形になると思います。</p>
会長	<p>コンサルタント任せにならない様にしていきたい。</p>
事務局	<p>それは、勿論です。</p>

委員（伊賀鉄道）	当事者ですので、意見というより実情に関する報告です。ちょうど今年度が終わりますと、まる7年が経過するという状況です。その内の半分程度はコロナ禍で、これは社会的な問題ではありますが、非常に苦しみました。このようなことから、7年前の再構築計画に立てた数字とは、大きくかけ離れているというのが現状でございます。今後も、コロナ後の社会情勢、燃料や賃金の高騰、伊賀市内の様々な地域の変化も含め、新たなデータに基づき、様々な検討を引き続き進めて行きたいと思っています。
----------	--

【承認】

(4) 島ヶ原ぐるり号に係る運行計画の変更について  
事務局から資料4に基づき説明。

【質疑応答】

委員	2点ある。変更の予定日を教えていただきたい。 もう1点は、基本的に利用者の方の利便性が上がるような形の変更だと受け取っている。利便性の向上には、使っていただくことが重要であるため、地域住民の方々や利用者の方々に、使っていただけるよう周知をしっかりとお願いしたい。
事務局	変更の日時については、令和6年4月1日に変更させていただきたいと思っています。また、周知につきましては、4月1日の変更に伴い、3月中旬に島ヶ原地域の皆様にチラシ等の各戸配布で周知させていただきたいと考えています。

【承認】

3. 報告事項

(1) 山添村村民バス（伊賀ルート）に係る運賃について

事務局から資料5に基づき説明。なお、運賃等分科会での協議結果について分科会長の風隼委員から報告。

【質疑応答】なし

(2) 上野天理（山添）線の再編について

三重交通株式会社から当日配布資料：山添村コミュニティバス運行に伴う上野天理線の再編についてに基づき説明。

【質疑応答】なし

4. その他

- ・「伊賀鉄道ICカード利用開始」と「伊賀鉄道2024年度まくら木オーナー制度」について

伊賀鉄道から当日配布資料：「伊賀鉄道ICカード利用開始チラシ」と「伊賀鉄道2024年度まくら木オーナー制度チラシ」に基づき説明。

【質疑応答】なし

(終了)